

SDGSを毎日目にするようになりましただね。
カシミアニットは持続可能で、地球に優しいファッションのご馳走です。

ふるさと納税2022〜23はピークの年末を越しました。
お陰様で今年度の寄付も2億円を超えました。

UTOカシミアで寄付をしてくださった皆様に心よりお礼を申し上げます。
一日でも早くお届け出来るように職人たちが頑張っていますので、
もうしばらくお待ちください。

サッカーワールドカップカタール大会で日本代表がドイツ、スペインを破りグループリーグを首位通過。クロアチアに敗れベスト8は叶わなかったが快挙ですね。
サッカーのリーグが始まって今年で30年。目指してからこそここまで来るのに30年は長いようで短い。
UTOカシミアもここまで来るのに30年。やはり長いようで短いと感じます。

【テレビ岩手生放送】

12月20日16時30分から
テレビ岩手(4ch)ニュースプラ
ス1いわてで、
UTO岩手工場での年の瀬にふるさと納税でご注文いただいたニット作りの制作の様子をライブで紹介させていただきます。
地元の方から好意的な反響を頂きました。



【新聞掲載】

岩手日報 12月15日 一面トップに掲載
カシミア製品再利用 自社製衣料引き取り環境
負荷低減に貢献
読売新聞12月27日 全国版生活面に掲載
カシミアの洗濯方法で「UTOは自分で手洗い
をお勧め」など

【エッセ大賞・銀賞を受賞】

扶桑社の月間生活情報誌「エッセ(ESSE)主
催、ESSEふるさとグランプリで、UTOの天使
のストール大判サイズが、品物部門で銀賞に選ば
れました。

【NHKラジオで紹介】

12月17日(土)あさ5時30分から放送。
NHKラジオ「マイあさーらじるらじる」で

【自分の為に着るカシミアニット】

若いころ、流行のファッションに身を包んでお出
かけすることはとっても楽しく素敵なことだ
ね。いろんな流行のファッションを経験し行動も落
ち着いてくると、世間や他人様にアピールする装
いからだんだんと自分自身が気持ちいいと感じる
ような装いに移ってくるようになります。
軽く暖かく柔らかいカシミアは、対外的という
より自分が気持ち良くなるために着るファッション
アイテムと言えます。
高価なカシミアを自分のために着るといふこと
は、とても素敵なこと。ある面ではいさよこも贅
沢なことだと思えます。

UTO吉田の写真展 「私たちの天浜線より」



【青山・表参道界限】

UTOはこんな街から発信しています

青山・表参道界限の三十年

(III)

前回紹介した橋本ビルが現在UTOが入るたつむら青山で、隣が「ニッカビル」でその先の先のビルがUTOが創業した滋澤ビルです。ここは銀座線の表参道駅から歩いて6〜7分で通勤などの交通の便が良いところです。滋澤ビルは7階でしたがワンフロアが10坪のペンシルビルでエレベーターが空いたらすぐにオフィスという狭い物件ながら保証金は10カ月も必要でその点ではバブルが続いていました。

30年前、滋澤ビルの1〜2階は「ミスクロエ」のショップ。通りの右向かいの全葉連ビルに「イネス」のショップがあり、真向いは伊万里焼の店「からくさ」という店でした。後に分かったのですが、店主は中島さんという人で、中島さんは骨董通りの名付け親だそうですがそのころは全然そんなことは知りませんでした。

和服姿で通りに出て腕を組んで遠くを見ていたのを6階のオフィスから度々見ていました。しばらくして94年に始まった「なんでも鑑定団」に出てきて「いい仕事してますね！」とブレイクして、「アッ！あの親父さんだ！」と気づきました。お向かいなお話をする機会はありませんでしたが、しばらくしてお店が無くなり、タレント活動で忙しいんだろうと勝手に

思っていました。

滋澤ビルの手前がYKビルで2階に飛行機専門のウィングクラブという飛行機の完成モデル専門店が入っていました。オーナーの矢野さんとはお話ししたことがありますが、なんでも鑑定団レギュラーの北原さんがおもちゃを集めるきっかけになった方です。残念ながらウィングクラブもコロナ禍の昨年閉店してしまいました。

「伊万里焼・からくさ」の隣が和菓子「菊家」で店の前に骨董通りには珍しい柳の木がありました。菊家は今はりっぱなビルになりました。ビルは最上階に移り柳の木もなくなりました。ビルの前の植木鉢に柳が植えられています。

その隣が今はセブンイレブンですが30年前はライブハウスの「ブルーノート東京」でした。現在はちよつと先の6丁目に移りました。「世界の一流アーティストによるライブを至近で、美味しい食事やドリンクとともに、上質なモダンかつシックな空間でお楽しみいただけるジャズクラブ&レストラン」はご近所なんです。私には敷居が高すぎて30年も経ちますが一度も入ったことはありません。



懐かしい菊家

カシミア100% 額縁ストライプブランケット

(120cm x 76cm)
1312-3360 ¥49,500(税込)

大人気のバイカラーのピinstライプマフラーがブランケットになりました！天使シリーズのブランケットとは違ったモチモチの肌触りが特徴です。リバーシブルになっており、組み合わせのカラー次第でユニセックスでお使いいただけます。



カシミア100% Vウエストシェイプフレアワンピース

1112-1348 ¥99,000(税込)

首元をシャープに演出するネックラインと、カシミアならではのしっとりとした質感と美しい落ち感のあるフレアが女性らしさをさらに演出してくれます。袖口はゴム編み、裾はフレアのドレープが美しい袋編みのシンプルな仕上げは、ウエストを高め絶妙にシェイプしたシルエットを際立たせます。長さを調節することで、キュートにもエレガントにも。ニットワンピースならではの心地とエイジレスなデザインをお楽しみください



カシミア100% メンズ 5G 片畦ジップカーディガン

1247-2001 ¥121,000(税込)

最高級のカシミアを贅沢に使用したカジュアルながら高級感のある畦編みジャケット。前開きはファスナー仕様。上質な素材ならではの暖かさはもちろん、ふっくらとしたボリュームのある質感でカシミアならではの肌触りをさらに実感頂けます。真冬以外はアウターとしてしっかりとした重厚感があり、最高級のカシミアを纏う贅沢を実感できるアイテムです。



ブランドの本質

原料とモノづくりにあり

私たちUTOは、製品の真の価値は「原料ともの作り」に尽きる」と信じています。

「一流の素材から一流の商品と二流の商品が生まれるが、二流の素材からは二流の商品は生まれても決して一流の商品は生まれません」と言われますね。もちろんカシミヤニット作りでも同じことが言えます。「一流の素材と一流の作りが合わさって初めて一流の商品が生まれる」ことは誰もが認めることなのでしょう。

『一流の素材と一流のもの作り』この二つが合わされなかつたらその後どんなに宣伝や売り方が優れていても一流の商品とは言えないと思います。

ファッショニブランドは2つのジャンルに分かれます。一つはもの作りから発展したファクトリーブランド。もう一つがパリコレなどに発表されるデザイナーから生まれたデザイナーズブランドです。

皆さんがご存知のように、フランスのルイヴィトンやエルメスは馬具屋さん。イタリアのグッチは皮製品屋さん。モノづくりを追求した結果が今の信頼でありブランドで、自社の職人が作ったり、専用の工場で製造したりして、モノづくりを最も大切にしています。

一方シヤネルやディオールやアルマーニなどのデザイナーズブランドは、卓越したデザインを追求し、パリコレをはじめいるんなショーなどで広く認められたデザイナーズブランドです。トレンドに合わせてどんどん移り変わります。もちろんそれに伴い生産する工場も変わります。



ことになりません。

日本のファッショニブランドは殆どがアパレルという問屋ブランドで、ほぼ外部のOEM工場が生産されます。工場はいつも次々と変わるトレンドに対応することを求められます。新しいもの、今までにないものを求めるのが常なので、シーズンやトレンドが変わると扱う素材も変わるのが常で、ひとつの素材やデザインに時間をかけて追及するものづくりは難しいのが現状です。

そしてOEM工場は優秀な工場であればあるほどアパレルの極秘事項で殆どお客様には知らされません。

UTOは日本では珍しい「モノづくりのブランド」です。カシミヤという素材に絞り込み日々カシミヤを勉強しています。

ファッショニ素材と言ってもウール(羊)をはじめ、アルパカ、モヘア、アンゴラ、等々。綿でもナイールや海島綿などの超細綿、発色の良いスーピマ綿、軽さが特徴のペルー綿。麻でもリネン、フミーなど種類があります。数え上げたら限がないほどです。一つ一つの素材はそれぞれに特徴があり奥が深いものです。

岩手県北上市にあるUTO工場の職人たちがカシミヤに対する技術や知識を重ね、大量生産に追われることもなく一枚一枚丁寧に作っている、真正正銘のメイド・イン・シヤパンです。

また、自社での企画・製造・販売という流通の簡素化により、世界の一流ブランドにも負けない品質にも関わらず、このリーズナブルな良品良価を実現できています。

ツアーのホテルの予約が取れてません

II



フィリピン4泊5日の社員旅行の添乗の出発当日空港で、ツアーの最終日以外マニラのホテルが取れていないことを告げられた私は針の筵に座った心境でマニラまでの4時間を過ごし一行はマニラに着きました。

迎える日本人の現地ガイドさんが到着後開口一番、「ホテルのオーバードッキングのことは聞いています。私が観光と昼食へ向かうバスの中で事情を説明しますから、宇土さんは現地エージェントとホテル探しに行ってください」と言うことでツアーから離れました。

現地事務所は、悪いのはホテル側と涼しい顔です。今さら責任を擦り合っている始まらない、とにかくホテルを探さなければ。

インバウンドの現地責任者がマニラで唯一確保できたというホテルへ。「あちゃー!」下町のふるいホテルです。もし私がノーと言ったら「責任はプラザホテルにあるのでプラザの廊下で寝てもらうしかない」と脅かしても言える発言です。今は寝るところが確保出来ただけでも辛いと悟りました。

お客様には、観光の時ガイドさんが事情を説明してくださっていて私が思っていたより皆さん冷静で何とか今日はこのホテルに泊まることになりました。現地エージェントは最終日のプラザホテルが取れているのでそれまでここに泊まってほしいというのです。それはお客様に申し訳が立たない。私は何としてもフィリピンプラザに4泊泊まるよりいい旅を作ると心に決めました。

翌日の観光はマニラの南のタガイタイという、日本の箱根や日光のような風光明媚な処。昼食はこの老舗で最高のリゾートホテルのタールビスターロッチ。出来たらそこに泊まって海水浴を兼ねたリゾートツアーにして、最悪それがダメだったらこのホテルに泊まる計画を社長さんに話し了解をもらいました。

この地区のリゾートと目星をつけたこの老舗ホテルの支配人にチップを弾んで協力してもらいました。まさにこの考えが的中でした。

支配人が、自分のホテルで空いている5人の女性陣が泊まれる2つのセミスイートと社長さん部屋を確保してくれて、支配人自ら近くの知人のリゾートホテルに電話をして男性陣が泊まる部屋を確保してくれました。しかも翌日の泊りも、ゴルフ場の中にある素敵なコテージをホテルの仲間に紹介してもらい部屋を確保出来、最終日の前日に予約の取れていたフィリピンプラザにチェックインすることが出来ました。

当日のホテルが取れていないという大変なハプニングから始まったツアーでしたが、最後には皆さんがとっても喜んで下さり、翌年はハワイツアーをやっていただけることになりました。

想いでのホテルを旅する(七十四)

元 旅行屋のお勧め ローマ・イタリア

プレジデント ホテル

45年近くも前に宿泊した懐かしいホテルです。今はベストウエスタンホテルのメンバーになっているようですが、持ち帰ったホテルカードで確かめると住所が同じなので間違いのないと思います。建物の写真を見るとほぼ変わらないのでずいぶん古い建物ですね。正直まだあったんだと驚きです。

15人くらいのファッショニツアーのグループで、ロンドン、パリ、ミラノと旅して最後がここローマでした。質実剛健の九州の田舎出の私はそれまでファッショニとは全く縁がありませんでした。お客様と一緒に訪れたロンドン、パリ、ミラノの街の有名な高級ブティック巡りは大変なカルチャーショック。中でもセーター一枚が私の月収ぐらいのタグを見て、「よその世界だ!」と、驚きの連続でした。

ローマでもお店のリサーチに同行させてもらいました。ローマのメイン通りのコンドッティ通りの突き当りはローマの休日有名なスペイン広場です。私は映画の舞台に興味があったのですが、皆さんはスペイン広場の階段には殆ど興味を示さず手前の店に入り込みました。「ここがグッチだよ!」と言われても当時の私には全然わかりません。イタリアの国旗のようなグリーンと赤ラインのバッグは私にとってはそれこそ猫に小判状態でした。

そんな奴がファッショニツアーをやっているというのが不思議ですが、懐かしい思い出です。

帰国前の1日が自由時間でした。各都市ですつと街中をリサーチして歩いていたので郊外を観光したいという希望に、以前私が訪れたことがある郊外のヴィラ・アドリアーナと噴水で有名なピラ・デ・エステを皆さんにお勧めしました。

こんな時に頼りになるのがホテルのコンシェルジュです。カウンター前の威厳のある机に座っていて、ホテルを出入りするたびに愛相よく挨拶してくれるコンシェルジュに依頼したら、瞬間に中型のバスと運転手さんを手配してくれ、コンシェルジュの実力を知りました。



アーチのついたギリシャ式の柱とプールのような池にギリシャ戦士の像が並ぶ世界遺産でもあるハドリアヌス帝のヴィラ・アドリアーナ。石の遺跡に艶やかな緑にピンクの見事な夾竹桃の花が印象的でした。そして、エステ家の別荘のチボリ公園は深い緑の森の中に数え切れないほどの噴水に、「観光もたまには良いね」という声に、「ファッショニ業界の人達は世界が違なんだなあ」と実感した経験でした。